

校長メッセージ
～復旧工事の進捗状況について～

令和6年12月25日

保護者・生徒の皆様へ

能登半島地震の発災から1年が経過しようとしています。本校は、保護者・生徒の皆様にご理解・ご協力を賜り、これまで無事に教育活動を進めることができました。改めてお礼申し上げます。

先日、石川県勢として数十年ぶりに全国選抜大会で勝利した女子ホッケー部をはじめ、生徒たちは、部活動や資格取得、進学、就職、ボランティアなどに例年以上の成果を上げており、震災の影響をものともせず「不撓不屈」の精神を發揮し、頑張ってくれていることに大変喜んでいるところです。

今回の校長メッセージは、復旧工事の進捗状況に関することです。

①CS棟前の地盤崩落について

地盤が崩落した箇所については、「地盤を強くする工事」と「矢板を打込む工事」が行われています。(図1) 矢板を打込み、土砂が崩れないようにしています。(図2)

【図1】



【図2】



図1では、令和7年3月までが工期となっていますが、工事の難しさに加え、悪天候や資材不足などの影響があり、全体に遅れがちになっているようです。令和7年4月以降も必要な工事が控えており、引き続き復旧工事が行われることです。

②第2体育館の修繕工事について

第2体育館では、床の傾きを治す工事や、壁のクラック（ひび）を修繕する工事が11月から行われています。(図3)

工期は令和7年3月までの予定です。冬季に体育館が使用できないのは不便ですが、何とかやりくりしていきたいと思います。



【図3】

③崩落土砂の搬出について

発災直後は北陸自動車道の近くまで崩落した土砂が埋め尽くしていましたが（図4）、現在は土砂が取り除かれ、生徒の皆さんが登校の際に使用していた階段が掘り出されました。（図5）

【図4】令和6年1月撮影



【図5】令和6年12月撮影



④12月23日の2学期終業式での校長挨拶です。よろしければお読みください。

今年は元旦の能登半島地震で始まった年でした。皆さんには、C S棟が使えないことや、第2体育館が使えないことで不便なことがたくさんあったかと思います。通学でも苦労をかけましたね。特に雨の日は、靴や制服が濡れたり、汚れたりして大変だったことだと思います。また、皆さんのが使っているS字坂は先生方や工事の車も通る道です。いつも事故が起こらないか心配していましたが、いつ頃からでしょうか、朝、校舎の入り口に立ち、皆さんが元気に登校してくる様子を見ることで、私自身が安心することができて、それから1日の仕事を始めることができました。

こうして、1日、1日を積み重ね、無事に年末を迎えるのも生徒の皆さんと先生方、そして皆さんの保護者の協力があったからこそだと思っています。皆さん本当にありがとうございます。復旧工事はまだまだ続きますが、皆さんがしっかり頑張ってくれたことに感謝したいと思います。

先日、1年生の「産業社会と人間」で昨年度の卒業生が8名来てくれて「卒業生と語る」が開催されました。その中で北陵高校の良さは何ですか？という質問があり、卒業生が答えるには、北陵高校の良さは、

1. 話を聞いてくれる先生がたくさんいる。（先生がいい）
2. 総合学科なので好きな教科を選んで学習することができる。（自分で選択できる）
3. けっこう大きな会社に入れる。（就職がいい）

ということだそうです。

また、高校時代にやっておけばよかったと思うことは、という質問に対しては、「資格取得」を挙げる卒業生が多くいました。その他にもいろんなことにチャレンジして一度きりの高校生活を充実したものにしてもらいたいという話もありました。

北陵高校では資格取得をはじめ、ボランティアなどいろいろなことにチャレンジできます。そしてそのチャレンジを支えてくれる先生方がいます。この冬休みは、少し自分の将来について真剣に考えてみるのも良いことだと思います。

この年末年始は体調や事故に気をつけて、1月7日の始業式には元気に登校してください。それでは生徒の皆さん、有意義な冬休みを過ごしてください。